

海外から入り、国内で流行した感染症

海外から新たな感染症が入ったら、複数の情報を確かめ、冷静に対応できるようにしましょう

海外から日本に入ってきた主な感染症

新型コロナウイルス感染症

2019年12月に中国で報告された新たなコロナウイルスで、世界中に感染が広がり、日本でも、多くの人が感染し、現在でも流行しています。



スペインかぜ

現在のインフルエンザの初めての流行といわれており、1918年～1919年に於いて世界中で1億人もの死者が出ました。日本でも大流行し、マスクの着用が呼びかけられました（発生源は不明で、スペインで発生したわけではありません）。

新型インフルエンザ (H1N1型)

2009年にメキシコやアメリカから世界中に広まったインフルエンザで、日本でも2000万人以上もの人が感染して病院で治療を受けました。



デング熱

熱帯地方のカ（ヒトスジシマカ）などにさされることで感染し、高熱などが出る病気で、1942年ごろに西日本で流行し、2014年に再び日本の公園の中でカにさされた人が感染したことが報告されました。



コレラ

インドで発生した感染症で、日本では1800年代（江戸時代の後期～明治時代）に流行し、激しい下痢などを起こし、多くの死者が出て、とてもおそれられました。



エイズ (HIV)

エイズは、アメリカに起源を持つ感染症で、日本をふくめた世界中に広まりました。



新たな感染症が流行したときは

1つのメディア（情報）だけで判断しない

一人で判断せずに、おうちの人や先生に相談する（話を聞く）



ひとつの情報だけで判断せずに、おうちの人や先生の話聞いて、新たな感染症の予防や対応をしましょう。

二〇一九年に、中国から報告された新型コロナウイルス感染症は日本でも流行して、生活が大きく変化しました。海外から入った感染症が国内で流行することは今まで何度もあり、現在も海外との交通手段の発達で人の往来が活発になって、国際化が進み、新たな感染症が入る可能性が高まっています。もし、新たな感染症が流行したら、ひとつの情報から判断せずに、冷静に対応できるようにすることが大切です。

今までの歴史の中で、新たな感染症が発生し、日本もふくめた全世界で流行が広がりましたが、同時に感染症の予防法や治療法なども進歩してきました。